

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 第6回郵政ユニオン定期大会開催

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3770  
17年7月11日(火)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

7月5日から降り続いた大雨は九州北部地方に甚大な被害をもたらしました。これまでに福岡、大分合わせて21名の死亡が確認され、行方不明者も少なくとも20名以上となっております。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。組合としても支援物資や義援金などの呼びかけを行っていきます。

さて、郵政産業労働者ユニオンは、7月6～7月8日の3日間、東京で第6回定期全国大会を開催しました。

全国大会には各地本から代議員42名が出席。長中局支部からも高口支部長が中央執行委員として、また代議員として向井九州地本副委員長が出席し、2016年度の活動の総括と今年度の取り組み方針について討論を行ない、活動方針を確立しました。



また今大会には、小田川全労連議長、全労協金澤議長、棗弁護士(日本労働弁護団事務局長、郵政労契法20条東日本弁護団)を始め多くの来賓が見えられ、激励の挨拶を頂きました。

棗弁護士からは、「郵政20条裁判は労基法裁判の本命であると言ってもいいものだ。非正規の待遇改善差別解消のたかひに、正社員組合員が前面に立つてたたかうのは郵政ユニオンしかない。何としても裁判



を勝ち抜こう」と力強い激励を頂きました。

また日本共産党の梅村さえこ衆議院議員からは「郵政グループに働くすべての社員のために日夜奮闘している郵政ユニオンに敬意を表します」とあいさつを頂きました。

大会では、まず日巻中央執行委員長が第6回全国大会の任務として

「郵政産業労働者ユニオンは結成から5年を迎え、すべての郵政関連労働者が将来に希望と誇りを持って働き続けられる職場づくりを運動の柱としてきました。郵政事業は、2007年10月1日に民営・分社化されてから今年で10年になります。2015年1月4日には日本郵政・ゆうちょ銀行・かんぽ生命3社が株式上場され、「国民のための郵政事業」から「株主のための事業」「儲けを追求する企業」へと大きく変貌しようとしています。

第6回定期全国大会は結成から5年のとりくみを総括するとともに、5年後、10年後の郵政ユニオン運動を展望し、全地本・支部が一体となって、組織の強化・拡大で職場と地域に根差した体制をつくりあげていくことが求められています。

郵政ユニオンは結成宣言

において、「一人ひとりの組合員の意志を尊重し、要求にもとづく団結を大切にし、郵政ではたらくすべての労働者の期待にこたえる労働組合をつくっていく」ことを掲げました。新たな協力・共同の広がり、運動により切り開いてきた前進面をさらに発展させる方針を確立するとともに、労契法20条を活用して非正規労働者の均等待遇実現に結び付けるたたかひに全力をあげてとりくんでいきます。」と説明しました。



その後、取り組みの総括と方針に対して、各代議員から89本の発言と多くの文書発言が行なわれ、活発な討議が行なわれました。



また、今大会で郵政ユニオンの中央執行委員を、合わせて6期務めた高口さんが退任されました。高口さんは郵政ユニオンの女性初・非正規初の中執として、非正規問題・情勢の課題に対して先頭に立つてたたか



つてこられました。今後も支部長としての活躍を期待します。

尚、高口さんに代わって九州地本より向井副委員長が中央執行委員に選任されました。高口さん同様皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

、郵政ユニオン長崎中郵支部の海水浴です。

7月23日(日)、朝8時半 大波止ターミナル集合。8時50分の船で大波止から伊王島へ行きます。参加費は千円です。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。